

令和6年度 学校経営計画・学校評価			□4月4日提出	□10月3日提出	■3月14日提出	学校番号	34	窪川	高等学校	課程	全
高知県の教育の基本理念	(1) 学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく人 (2) 郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人 (3) 多様な個性や生き方を互いに認め、尊重し、協働し合う人	基本方針	① 予測困難な社会を生き抜く力を身につけるための教育の推進 ② 多様な背景・特性・事情等を踏まえた包摂的な教育・支援の推進 ③ 生涯にわたって学ぶことができる環境づくりと活動・取組の推進 ④ 各種施策を総合的・計画的に推進するために必要な基礎的・基盤的な環境・体制等の整備			学校関係者評価					
スクール・ポリシー	【アドミッション・ポリシー】(入学者受け入れ方針)		【カリキュラム・ポリシー】(教育課程の編成・実施方針)			【学力の向上】 評価 【 B 】 少人数の特色を生かした学力向上の取組や目標・将来像の形成に一定の成果を見る。「将来のために勉強をがんばる」という意識がつながっているか。キャリア選択や将来の可能性など学習の意義を実感できる環境のさらなる充実を。授業参観の機会があれば、学習時間の捉え方やアンケートの問い方には再考の余地あり。					
	① 基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けている人物 ② 自らの目標と課題を探究する勇気がある人物 ③ 自分の事を客観的にとらえられる人物 【グラデュエーション・ポリシー】(育成を目指す生徒の資質・能力) ① 起業精神を身に付け、社会貢献するための技能「勤労の愛好」 ・イベントや事業を企画し、マネジメントできる技能を育む ② DX化する社会に自らの能力を活かす態度「真理の探究」 ・デジタル技術やデジタルサイエンス等を社会や生活に活かす態度を育む ③ 協働できる勇気「品性の涵養」 ・他者と技能等を補い、新たなミッションに挑戦する勇気を育む ・課題を分離し、分業と貢献の姿勢で臨む態度を育てる		セルフマネジメントができる入学者 ① 様々な進路に対応する教育課程の研究と学習環境の充実 ② 学習習慣、少人数指導、個別最適学習など基礎学力向上への対応と教育相談の充実 ③ 「地域を頼り、貢献する」地域課題研究や地域部活動の実施 ④ ポジティブ化、フォローアップの実行			【社会性の育成】 評価 【 A 】 主体性を反映した行事や地域活動を通じて社会を実体験できる機会が創出されている。地域課題研究等の取組により自己表現力・コミュニケーション力が大きく向上、狭い意味での地域・社会貢献ではなく自然に学べる環境ができています。発表会でも達成感が伝わってきた。地域協働学習は評価の工夫で意識づけを。 【チーム学校】 評価 【 B 】 特色を生かした魅力化や振興の取組など、入学者数増に向けてチーム学校としてやれる事はほぼ実行されている。あらゆる面でのこれ以上ない取組が結果として数字に表れておらず遺憾。今後は学校と行政・地域が協働したPR強化やまち全体の取組、「学校の見える化」等の拡充を。起業精神を育むための活動を支える先生方の働き方改革にも配慮や工夫を忘れず努められたい。					

(評価)A: 目標を十分に達成 B: 目標をほぼ達成 C: やや不十分 D: 不十分

		育成を目指す資質・能力【P】	現状と目標(評価指標)	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】	中間評価後の取組内容【P・D】	年度末評価【C】	見直しのポイント【A】
重点項目	学力の向上	★確かな学力 ○基礎的・基本的・発展的な知識及び技能 ○思考力、判断力、表現力等 ○学びに向かう力、人間性等 ★将来を見通した学び ○将来にわたって学び続ける意欲(学習習慣を含む)	①基礎力診断テスト「C層以上」最終65%以上 1年① 1年② 2年① 2年② 新2年 9 → 18 → 36 → 68 (%) 新1年 30 → 48 → 56 → 67 (%) (新1年については仮定値、中間評価時に修正(済)) ②進路マップ「1日の学習時間1時間以上」 70%以上 (R5第2回 61%) ③高知県オリジナルアンケート 「将来の可能性を広げるために勉強」 肯定90%以上 (R5第2回 86%)	○授業改善への取組 ○習熟度別講座・T T指導・遠隔教育 ○学習支援員によるT T支援や補習 ○自学自習アプリの活用 ○週明け課題・週明けテスト ○定期試験2週間前キックオフ期間 ○基礎力診断テスト事前学習(ワンウィークトライアル) ○公設塾との連携 等	B ①基礎力診断テスト「C層以上」 2年27% 1年30% ②進路マップ 「1日の学習時間1時間以上」 54% ③高知県オリジナルアンケート 「将来の可能性を広げるために勉強」 肯定94%	・当初計画に沿った取組の継続ならびに予習・復習サイクルの徹底 ・基礎的事項の丁寧な指導 ・個別指導・支援の継続 ・1時間以上の家庭学習習慣の定着に向けた取組	B ①基礎力診断テスト「C層以上」 2年18% 1年44% ②進路マップ 「1日の学習時間1時間以上」 29% ※オリジナルアンケート結果 34% ③高知県オリジナルアンケート 「将来の可能性を広げるために勉強」 肯定89%	・予習・復習サイクルの徹底 ・個別指導・支援の継続 ・1時間以上の家庭学習習慣の定着に向けた取組の強化
	社会性の育成	★豊かな心 ○自己存在感、自己有用感、コミュニケーション力、自己決定力等 ★多様性・包摂性 ○キャリアデザイン力(やりぬく力) ○他者への思いやり(地域・社会貢献、ボランティア活動等も含む)	高知県オリジナルアンケート ①「自分のことが好きである」 肯定70%以上 (R5第2回 65%) ②「物事に取り組む際には目標や具体的な手順を考え達成のために努力できる」 肯定85%以上 (R5第2回 79%)	○企業・学校訪問 ○進学説明会 ○合同企業説明会 ○ビジネスマナー研修 ○スキルアップ講座 ○親春体育祭 ○ボランティア清掃 等	A 高知県オリジナルアンケート ①「自分を大切に思える」 肯定81% ②「物事に取り組む際には目標や具体的な手順を考え達成のために努力できる」 肯定85%	・学校行事等への主体的な取組を尊重し、自己有用感や達成感の向上につなげる取組の継続	A 高知県オリジナルアンケート ①「自分を大切に思える」 肯定82% ②「物事に取り組む際には目標や具体的な手順を考え達成のために努力できる」 肯定87%	・学校行事等への主体的な取組を尊重し、自己有用感や達成感の向上につなげる取組の継続
取組項目	地域協働学習	【取組のねらい】 ○生徒の社会的自立・社会参画に必要な資質・能力の育成 ○地域・関係機関との連携	高知県オリジナルアンケート ①「地域や社会のためにすべきことを考える」 肯定75%以上 (R5第2回 69%) ②「地域や社会をよくするために実際に行動している」 肯定70%以上 (R5第2回 59%)	○新文化祭 ○地域課題研究・探究学習 ○探究学習発表会 ○地域行事等での協働活動 等	B 高知県オリジナルアンケート ①「地域や社会のためにすべきことを考える」 肯定67% ②「地域や社会をよくするために行動したことがある」 肯定49%	・地域社会への関心向上や主体的な行動をめざした地域との連携・協働の継続	A 高知県オリジナルアンケート ①「地域や社会のためにすべきことを考える」 肯定70% ②「地域や社会をよくするために行動したことがある」 肯定65%	・地域社会への関心向上や主体的な行動をめざした地域との連携・協働の継続
	教科横断的教育	【取組のねらい】 ○学習の基盤となる言語能力や情報活用能力の育成 ○各教科の学びを実社会での課題発見や解決に結び付けける力の育成	高知県オリジナルアンケート ①「学んだ知識をもとに考え、まとめ、発表する授業」 肯定95%以上 (R5第2回 88%) ②「学習すること自体がおもしろいから勉強している」 肯定50%以上 (R5第2回 39%)	○公開授業・研究協議・先進校視察 ○年次研修・授業研修セミナー ○学習アプリ・デジタル教材の活用 ○学習の記録に関する指導 等	B 高知県オリジナルアンケート ①「学んだ知識をもとに考え、まとめ、発表する授業」 肯定93% ②「学習すること自体がおもしろいから勉強している」 肯定38%	・組織的な授業改善に向けた参観授業や研究協議等の取組を継続 ・ICTの適切な活用の研究	B 高知県オリジナルアンケート ①「学んだ知識をもとに考え、まとめ、発表する授業」 肯定99% ②「学習すること自体がおもしろいから勉強している」 肯定46%	・組織的な授業改善に向けた参観授業や研究協議等の取組を継続 ・ICTの適切な活用の研究

		取組のねらい【P】	現状と目標(評価指標)	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】	中間評価後の取組内容【P・D】	年度末評価【C】	見直しのポイント【A】
チーム学校	学校の振興	★学校の魅力化 ○地元中学校や周辺中学校からの進学者数の確保	①入学希望者40名以上 (R5 A・B日程志願者数計32名) ②地元中学校からの入学率50%以上 (R5 34%) ③部活動入部率70%(うち運動部40%)以上 (R5 69.5%、うち運動部35.4%)	○教育DX加速化 ○教育課程の見直しによる理数系教育体制の充実 ○コーディネータ・指導員の充実 ○地域コンソーシアムによる地域協働活動の充実、地域部活動・中高連携部活動・総合スポーツ同好会の推進 ○説明会やWe b等での情報発信 等	B ①体験入学申込者(全体) 81名 窪川71、大正1、佐賀4、須崎5、旭1、野市1 ②体験入学申込者(地元中学校) 71名 ③部活動入部率 72%(うち運動部34%)	・地域と協働した活動や地域交流等コンソーシアムの取組を継続 ・地域の中学生の進路動向を見据えた教育課程の開発 ・ホームページ等での情報発信を継続	B ①A日程志願者 16名 ②地元中学校からの志願率 14% ③部活動入部率 72%(うち運動部34%)	・地域と協働した活動や地域交流等コンソーシアムの取組を継続 ・地域が協働した取組の可視化やPR強化
	不祥事防止	★教職員の倫理観の堅持 ○不祥事防止対策の徹底 ○よりよい職場風土づくり ○教職員のメンタルヘルス ○不祥事発生時の適切な対応	○現状課題 不注意事案発生の防止、ハラスメントについての理解徹底、法令遵守の意識喚起 ①校内研修の実施回数(3)回 ②不祥事防止委員会の実施回数(3)回	○相談のしやすい環境づくり ○日常的な啓発・声がけ ○個人情報等の取り扱いに際しての確認体制の周知徹底 等	A ①校内研修等の実施回数 (6)回 ②不祥事防止委員会の実施回数 (3)回	・予防と理解の徹底に向けた取組を継続	B ①校内研修等の実施回数 (8)回 ②不祥事防止委員会の実施回数 (4)回	・予防と理解の徹底に向けた取組を継続
	働き方改革	★長時間勤務の解消 ○校内組織の改編・分掌業務の見直しによる、個々の生徒と向き合う時間や指導力向上への時間の確保	①時間外勤務 各月の平均 30時間未満 (R5 25時間) ②休暇取得率 夏期特休 100% (R5 86%)	○校務DXによる業務改善 ・ルーチン化、ペーパーレス化 ・Google、グループウェアの活用 ・クラウドへの保管・整理ルール徹底 ○事業概要書・役割分担表の活用 ○地域部活動・中高連携部活動の拡大 等	B ①時間外勤務 4月34、5月30、6月28、7月25、8月09、9月24 (時間) ②休暇取得率 夏期特休 97%	・業務の整理や精選等の取組を継続	B ①時間外勤務 4月～1月 平均27時間 ②休暇取得率 夏期特休 97%	・業務の整理や精選等の取組を継続